

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

復興支援をしているとやはり人と人とのきずなが深まると思いました。具体的には漁業支援などを行い地元の方と自分たちで新しく関係ができたり、地元の大大学生と触れ合うことで大島に来ることではかできない絆があると思います。そのほかにも被災地の人たちの役に立てると嬉しいし、期待にこたえられるともう一度大島に来て仕事がしたいという気持ちになりました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今回は教育支援で中3の子たちに勉強を教えました。気付いたことは大島の子たちは学校以外でちゃんと勉強を教わる機会がないということです。よって今回のように今後もこういう教育支援を続けるべきだと思いました。それ以外にも大学生との交流会は好評だったのでその機会も増やすべきだと感じました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

大島には有名な観光地やイベントなどがないと思うので、大島でのイベントの企画や学校での大島のPRなどを通して大島への観光客を増やしていけたらと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

前回は8時間以上かけて家へ帰ったので翌日まで疲れを持ち越してしまいましたが、今回は電車と新幹線で帰ってこられたので、バスと違い新幹線の中で休むこともできてその日に家でお風呂に入れたのは嬉しかったです。このようなら自分はまた今度も大島のボランティアに参加したいです。ありがとうございました。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(経済) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

私は今年の夏にも大島に行きました。その頃とは活動内容が全く異なり、時間の経過とともに、ニーズも大きく変化しているのだと強く感じました。また、お年寄りの方が多く、これから先の高齢者への手伝いも必要になるのではないかと感じました。島民の方々のニーズにあった活動をしていくことが、とても大事だと今回のクールではとても考えさせられました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

海岸にはガレキなどもほとんどなく、島民の方々が生活していくには、あまり不便があるようには感じられませんでした。なので、これからはどのように大島を復興させていくのが大事だと思います。そのためにはより多くの人に大島の魅力を知ってもらいたいです。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

大島の魅力をより多くの人に知ってもらうために、Facebookなどのページを作り、知ってもらう。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回は助成金を出していただきありがとうございました。前回大島に行った時は往復夜行バス、最終日は早朝に新宿着というハードスケジュールで、とても疲れてしまいましたが、今回は新幹線に乗ることができ、疲れもあまりありませんでした。今回、このような機会をいただき本当に感謝しています。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

気仙沼大島へ行き、漁業支援や教育支援を行いました。がれき撤去など表立った被災地支援ではありませんでした。しかし、復興が進んだからこそできる支援であると感じました。私たちボランティアができることは、被災者が自立して生活していける環境を整えることだと思いきっかけとなりました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

上記のとおり、被災者が自立して生活していける環境を整えることが必要だと思います。例えば漁業の養殖では、基盤となるツール（いかだや浮きなど）を作る手伝いをし、今後養殖を続けていける状況にすることだと思いました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

まず、現地のニーズを把握することが大前提だと思いますが、生活がある程度の水準で成り立つようになった地域においては、観光業でそれぞれの地域の特色を生かしたイベントなどを行い、観光客を呼び込み、被災地の経済を活性化させることなどがいいのではないかと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

助成をいただいたことで、新幹線を利用することができ、身体の負担が軽減され、より懸命に活動に専念することができました、ありがとうございました。この活動を通して、被災地のために何ができるか考える機会となりましたので、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

以上

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(経済) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

中学生の教育支援では、子供たちの勉強や将来について少々漠然としている印象を受けました。情報が少ないので自分の視野を広げる機会があればいいと思いました。漁業支援では、若布の袋詰め作業の手伝いをしました。毎日寒い中こんな作業を続けていると思うと、漁師さんの大変さや苦勞が伝わってきました。今回は手伝いというより手伝わせてもらっているという気もしたので、支援の方向性について再検討する必要もでてきているのではないかと思います。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

学生には今後も継続的に学習支援や将来について考える機会やワークショップなどを提供するべきだと思います。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

学習支援については、参考書（古本）などの寄付や添削指導で島へいけない間もリモートサポートできれば、学力向上につながるのではないかと思います。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回は支援するにあたり、体力的にも十分健全な状態でいられる移動手段（新幹線など）や宿泊施設を利用させていただき、心身ともに良好な状態で無事に終えることができました。それも貴財団のおかげであり、本当に感謝しております。被災地の状況を直接見て、いろいろ感じることができました。この機会を機に、被災者や現地の人々の思いやつながりの大切さを感じることができました。本当に有難うございました。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(文) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

私は今回初めて被災地を訪れたのですが、復興も進んでいるとはいえ、依然として大災害の爪痕が多く見受けられ、大きく心を揺さぶられました。しかし島民の方々は、温かくやさしく私たちを受け入れてくださり、また、子供たちの笑顔がとてもよく、かえってこちらのほうが元気をもらいました。ボランティアは続けてこそ意義があるものだと感じました。変化を見届けていきたいです。今後も被災地の状況にアンテナを張り、好機を見計らって必ずまた来訪したいです。ひとりひとりとの出会いに感謝！

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

今回教育支援で知り合った中学生たちが私たちの帰り際見送りに来てくれました、彼らいわく、勉強を教わった事よりも東京の大学生とたくさん話をして盛り上がったことがなによりも楽しく、また来てほしいと。漁業支援や清掃作業などボランティアの成果がはっきりと形に現れることよりも、人と人とのふれあいによって得られるなにかこそ求められているのではないかと思いました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

長期的な支援につながるよう、気仙沼大島の状況を広く世間にしらせる。また、大きなイベントの開催地にし、観光客を増やす。学生団体などと連携し、特産品やグッズなどを関東圏でも売り出す。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回、冬の厳しい天候の中、また1泊3日（車内泊1泊）という時間的余裕もない中、快適かつ安全かつ充実したボランティア活動を送ることができたのは、バスのランクのグレードアップ、トレーラーハウスから旅館へ宿泊先が変更されたこと、帰りの夜行バスが新幹線に変更されたことが大きく寄与しています。有料施設に宿泊することで、被災地にお金を落としていくこともいいことだと思います。本当に本当にありがとうございました。

信行寺／「絆基金」ボランティア助成 報告書

団体名 (チーム次元)
(総合政策) 学部 (2) 年 氏 名 ()

1. 活動を通して得たことを記入して下さい。

今回は冬の最後のクールであり、自分個人として6、7回目の大島であった。何度も大島へ行っている自分としては島民からのニーズが蹴っているのは実感していました。しかし活動中に立ち寄った小学校では、他大の方が合奏をしていて島民に音楽もプレゼントをしていました。終わった後には大きな拍手。その時私は支援のあり方は様々でありどんな支援も少しは島民の方に役立っているのだと気付きました。そしてこの島に継続的に支援へ訪れることが大事だと思いました。

2. 今後、被災地支援のためにすべきこと、求められていることを記入して下さい。

自分たちが今回大島で行ったのは漁業支援と教育支援でした。その中で教育支援は中三を対象に夜行われたのですが、質問をしてくる子は予想以上に多く、自分たちも休む間もなく対応し続けました。大学生と交流の際も恥ずかしがりながらいろいろな質問をしてくれ盛り上がりました。次の日にたまたまその中三の子たちと遭遇した時に、彼らが「昨日の勉強会は本当に助かりました。」と言ってくれたので、勉強を教えたり、大学生と交流する機会があってもいいのではないかと思いました。

3. 被災地支援のアイデア（企画、具体的な活動内容など）を記入して下さい。

中三たちとの交流で大きな反響を得たので、勉強以外にもスポーツでの交流や小学生を巻き込んだゲームなど、大学生と一緒にいられる時間が多い活動をしてみたいです。そして中学生の将来をグループワークや相談など教えてみる機会などがあってもいいのではないかと思いました。

4. 浅野代表へ一言お願いします。

今回は絆基金で大島へのボランティアを補助していただきましてありがとうございました。メンバーの体力面を考えたバスであったり、寒いなかに泊まるというのは心配でした。しかし宿泊施設の利用や特に帰りの新幹線は反省会もできて、次の日の学校のために体力も養えるので本当にありがたみを感じました。